公民館報 こすど

発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行印刷人 矢部藤三郎

廿七年度町予算 二九・〇七二・一〇八圓

廿七年度予算町会は三月廿七、八両日招集され、次の通り確定されました

(1)昭和廿七年度小須戸町歳入予算 二九、〇七二、一〇八円

◎町税	一九、三　一、〇七五円
（内訳）	
町民税	九、二八一、五六九
固定資産税	八、三四一、九八四
自轉車税	二六五、〇〇〇
荷車税	二八一、二〇〇
電氣瓦斯	六〇〇、〇〇〇
鉱産税	二、一〇〇
木材引取税	一〇、一〇〇
廣告税	一五、〇〇〇
接客人税	一五、〇〇〇
◎法定外獨立税	一五、二〇〇円
（内訳）	
犬税	一五、二〇〇円
◎旧法による税	四九四、〇八二円
（内訳）	
縣税附加税	四八八、二八二
獨立税	五、八〇〇
◎地方財政平衡交附金	五、〇〇〇、〇〇〇円
◎公営企業及財産収入	一、〇〇〇円
◎夫役及び現品	三〇〇、〇〇〇円
◎使用料及び手数料	二、四九七、五四五円
（内訳）	
水道使用料	一、五〇七、六八〇
住宅使用料	一七〇、六四〇
火葬場使用料	一、五二五
市場使用料	二三三、八〇〇
委託料	三九、二〇〇
哺育料	二六四、〇〇〇
戸籍手数料	五〇、八〇〇
証明手数料	五〇、〇〇〇
鑑札手数料	一、五〇〇
督促手数料	五〇、〇〇〇
主食記入手数	八、四〇〇
塵芥処理	一二〇、〇〇〇
◎国庫支出金	三六〇、〇〇〇円
◎縣支出金	一八四、〇〇〇円
（内訳）	
産業経済費補助	八七、〇〇〇
衛生費補助	三五、〇〇〇
統計費補助	七、〇〇〇
教育費補助	二五、〇〇〇
選挙費補助	一三、〇〇〇
寄附金	一八、五〇〇円
繰入金	五、〇〇〇円
繰越金	一〇〇、〇〇〇円
雑収入	七九四、九八八円
町債	五〇〇、〇〇〇円

歳出予算 二九、〇七二、一〇八円

◎歳出の部	
議会費	四〇七、六九九
役場費	六、二九九、一〇五
消防費	一、七一一、四二五
土木費	八〇〇、〇〇〇
教育費	六、九二七、六九〇
（内訳）	
小学校費	三、七九七、七七〇
中学校費	一、五三三、九〇〇
高等学校費	六二七、一九〇
社会教育費	九六八、八三〇
社会及び労働施設費	一、一三四、六〇〇
（内訳）	
生活保護費	二〇〇、〇〇〇
民生委員費	二四、一〇〇
兒童福祉費	一、〇五〇、五〇〇
住宅費	四〇、〇〇〇
◎保健衛生費	二、一一六、六三〇
（内訳）	
傳染病予防費	一九八、五〇〇
傳染病院費	四五、八〇〇
結核予防費	一〇三、九〇〇
水道費	一、四〇二、六三〇
火葬場費	一一〇、〇〇〇
汚物掃除費	二五四、〇〇〇
墓地費	一、八〇〇
産業経済費	二、〇〇五、一三五
財産費	五、〇〇〇
統計調査費	五八、五〇〇
選挙費	五九、八五〇
公債費	三、八八三、〇一四
諸支出	三、二六三、四六〇
予備費	三〇〇、〇〇〇

（連載）町づくり 夢ものがたり

前々号の小見氏の「夢」には大賛成です。そこで、私は——町の行政地区が拡大されたものと考えて、それから先のことを病床夢うつつに、眞剣に、書きつけてみます。

足・足

さて、行政地区を拡大した以上、この町を中心として大いに繁栄させねばならないが——。このまゝではいけない。先ず「足」の便を図ることだろうと思います。足の便にめぐまれない爲町の顧客層が、足の便のよい処へ奪われるというのが現在の状態です。それなら、町の商人の勉強が足りないのかというと左にあらず。なかなかの勉強家揃いで、年中特賣やら元價提供もあえて辞せずという張り切り屋も相当おられるのでありますが、それも当町への足の不便が原因で、各店の経営が苦しいということの現われであります。

「夢ものがたり」につられて—

病床にて 中村信作

バス網

そこで、足の整備をどうするかという問題ですが、私は「バス」による小須戸中心の交通網を張りめぐらしたい。小須戸始発で、小須戸終着の環状バスを——。

(1)小須戸—水田—田上—鎌倉—矢代田—小須戸
(2)小須戸—矢代田—金津—東島—古津—梅の木—小須戸
(3)小須戸—庄瀬—保明—後藤—小須戸
(4)小須戸—戸石—臼井—鷲巻—大郷—三枚潟—小合—小須戸

という具合に、鉄道なども到底及ばぬ位の計画をすることによつて、当町の大発展は夢物語ならんというものではなく、併せてこれを町営に移せば後述するような「市」が実現されて町の財源にもなり兼ねないと思うのです。

人口集中策

次には人口の集中方法として、最近新聞などで問題になつている信濃川の河状整理実現の時こそ土地の無償、有償何れを問わず分譲を実行し、大工場の誘致或いは高等学校、大学等の建設（これは年々相当の負担金を町で出している）研究所等の設置を考えるものです

大貯水池を

新津市が、あれだけの交通の要衝でありながら何故長い間町で萎縮していたか？……一番大きな問題は「水」だつた筈です。

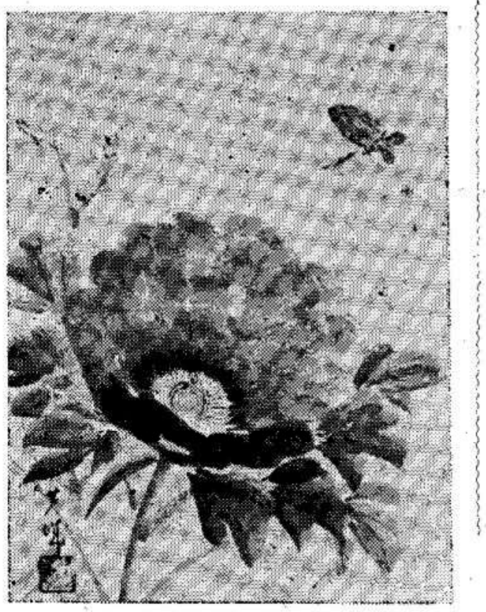
そこで 私は、護摩堂山に大貯水池を作つて、水に不自由のものは、わが傘下に來たれと蒲原平野に呼び掛ければ、一躍にして小須戸市実現も亦夢物語でない様な氣がします

平野と川

こうして、陸と川との両者の強みを十分発揮させれば……とこうまで一氣に愚にもつかないことを書きならべて來たところ、どうした訳か長谷川町長の顔がちらつき出して來ました。

あのダイジトリの町長がこの原稿をみて、又あの中村がとんでもないことを書いたワイと氣をもんでいられやしまいかと考えたら、急に筆が進まなくなつてしまいました。

病中の愚言おゆるし下さい。



新保分館 洋裁講座修了式

昭和廿六年度新保分館洋裁講座修了式は四月四日分館で開かれ、田中分館長より修了生川瀬ヨシ子始め二十名に修了証書の授与、賞狀賞品の授与があり、海津講師より期間中寒い晩も吹雪の夜もいとわず、よくやつて下さつた。尚今まではほんの基礎なのですから、これからもしつかり精進して下さいとの激励の言葉があり、めでたく終了した。

在外公館等借入金 確認請求再受付

終戦に際し国より後日返済を受けるとの條件で引揚救済資金、難民救済資金として在外公館又は自治團体に提供した在留邦人（個人）で確証ある者は六月末日までに請求しないと無効となります。手続その他は町役場へお問い合わせ下さい。

母校に國旗掲揚塔

四月二十九日天皇誕生の日、新保小学校々庭に立派な国旗掲揚塔が出來上つた。これは皇居の勤労奉仕に行かれた方々を中心に話が進められ、国を代表する国旗を掲揚し、獨立国日本の新な感激と努力を傾けたいと寄々協議を重ね、忽ち意見の一致を見、春耕の多忙の中から交代に労力奉仕を始めたのであつた。時恰も平和條約発効の秋、その意義も亦一しおのものがあろう。

『亂れかご』花祭り

戦前も戦時も、そして戦後においても、ほんとうに人間に必要なのは、すぐれた人の説かれた、まことの道理ではないでしょうか…。

現在新聞その他で道義の頽廃とか、道徳の低下などと盛んにいわれておりますが、その根本をさぐれば、戦争中に天皇を現人神とし、東條さんや軍閥を信じて生きていた人間が、敗戦によつて總てを裏切られたように感じこの世に信頼すべきもののないまゝに、一時的な欲望の滿足をもつて第一義とした所に最も大きな原因があつたと考えられます。どんなに時が移ろうとも、いかに環境が變ろうとも、それに対してドッシリと腰をすえて行けるすじ金いりの人間。それをつくるのでなければいかに道徳だ、道義だといつて見たところで、その場かぎりに終るでしよう。

四月八日は花祭り——町では一月おくれの五月八日ですが、この日はどうもお祭り騒ぎばかりで終始するのが毎年の例です。お釋迦様をダシにしてわい〳〵騒ぎ廻るだけが、この日の意義なのでしようか?。お釋迦様は生きた人間を相手に教えをひろめられた筈です。死んだ人に対して法を説かれたなどということはないと思います。

この町にもお寺はたくさんありますが、この花祭りの日を機会に一致協力して、宗教講座のようなものを持つたらどうでしようか。

今の若い人たちは、宗教など老人に必要なもので自分たちにはまだいらないと考えているようですが、人間にすじ金を入れるものは、やはり宗教だと信じます。一般の人たちに魅力のある宗教講座の開設を要望致します。

曙光みなぎる 講和發効 民主日本の獨立

講和記念行事

国旗掲揚　廿八—五日迄
慰霊祭　五月二日（了専寺）
記念式公民館開き　五月三日（於公民館）
防火無事故週間　廿七日—
記念植林植樹　一戸一本
納税組合結成記念講演会　日を期して

実施事項

(1)兒童福祉に関する論文 作文募集
(2)子供会（こども祭）
(3)母の日大会（十一日）
(4)カーネション頒布

母の日大会には郡大会が当町哺育園に開催されまして、各町村の模範家庭のお母さんが表彰されます。さて、小須戸町ではどなたが表彰されますか

郡市對抗駅伝競走

○期日…四月二十九日
○区間…長岡—新潟

選手

長岡今町間	平間安雄
新飯田白根	吉田修蔵
白根大野間	平間福治
補員	相田健一

哺育園竣功式 兒童入園式

町の皆様のお寶をおあずかりして哺くむ哺育園はスマートに竣功しまして

竣功式…四月三十日
入園式…五月一日

百五十名の園児が楽しく遊んでいる様は、春の花園に彷彿たる美しさです

第六回青少年保護育成運動

○週間
自五月五日—二週間
○趣旨
(1)人権擁護
人身賣買の絶滅
(2)兒童憲章の趣旨徹底
(3)未成年者の喫煙飲酒防止取締等々

五月の行事

社会福祉協議会
兒童福祉週間行事
期日 五月二日—十八日

5月8日 懸賞仮装大會 花祭り商工祭

國寶子育延命地藏尊大祭

花祭り商工祭は本年も五月八日盛大に挙行されることになつた假装大会には参加者に洩れなく賞品を呈上する外、團体一等金参千円 個人一等金五百円外メタル等の副賞が贈呈されます

人事

小須戸町官公衙 職員転入転出

警察署
転出 長沢直義（内野署）
島田十一（津川署）

第四銀行支店
転出 田部直拔（燕支店）
転入 佐藤格治（新潟支店）

小須戸高校
退職 成田高常（公民館）
転出 川島七司（小須戸中）
転入 武田統一（三條高）
鈴木一（新津高）

小須戸中学
転出 萱森朔夫（須田中）
傳田大六（新津高）
土田達禪（加茂高）
本望貞雄（横水校）
転入 小池照二（新大卒 中頸黒川）
川島七司（新津高）
会沢勇（中魚千住中）

小須戸小学
退職 田辺銀二
永井フミ子
転出 浅田トシ（七谷小）
転入 高橋孝（戸石小）
加藤八重子（佐渡河崎二）
吉田ヨシエ（矢代田小）

矢代田小学
転出 小川勝比古（須田小）
吉田ヨシエ（小須戸小）

横水小学
転入 会田五郎（小合南）
退職 山田進
川瀬賢吾
風間キヨ子
転入 本望貞雄（小須戸中）
板垣幸平（橋田小）
青島敏子（新任）

新保小学
転出 樋口ふみ（柄尾小）
転入 保科伊都子（新任）

御挨拶

公民館主事 成田高常

小須戸町公民館に絢爛たる御功績を残されて辞任されました前主事間野良知殿の後を継ぐ不肖私は、非才薄学、斯道には経驗乏しく到底その任ではありませんが、推薦されるまゝ僭越乍らお受けしました。盲蛇におちずのそしりは免れませんが他力本願でやるつもりであります。外には一万二千町民各位の御協力内には役員各位の御指導とにより、兎に角職責を遂行して行きたいと思います。急がずあせらず一歩一歩堅実な歩みを續けたいと念願致します。

きわみなき大海原に出でにけりやらばや小舟波のまにまに　一葉

小舟を溺れさせないよう御支援と御鞭撻とをお願い申し上げます。

みどりの羽根 募金運動

○みどりの羽根　一六、〇〇〇円
内街頭募金充足の分（中学生にて）　六、〇〇〇円
○白い羽根　五一、一九〇円

（内訳）
一世帯　三六円九四銭
一人当　四円四五銭
外に赤十字社員増募

訂正（先号）
金二百円　みどり会は
金三百円　につき訂正

◎長壽番附中
花沢キヨ八四才四番町が脱落 つつしんで訂正致します

昭和廿七年度 小須戸町米増産計画

昭和廿七年度産米増産運動展開

町長　長谷川鉄太郎

食糧需給の安定を図る爲には、輸入食糧の確保と国内食糧の増産とがあります。本年度は町食糧の増産確保農家経済の安定を図ることを目的として一九、〇二四石の米の生産目標にあらゆる手段を講じてその達成に力強く邁進したいと思います。町民各位の御協力を切望致します。

一　基本方針

第一　目的

耕地條件を整備拡充し農家の経営合理化を通じて産米の増産及び改良に努め、食糧自給度の向上並びに農家経済の安定とその自立化を促進し、更に積雪寒冷単作地帯振興計画の推進を図る

第二　生産目標

増産期待量　一、八七四石を見込み　一九、〇二四石を収稲生産目標とする

第三　運動方針

この生産目標は供出割当とは無関係である

合理的増産の促進

主要食糧増産計画

国県の指導助成集中

第四　増産対策

イ土地改良事業の整備拡充

ロ地力の維持増進

ハ優良品種の普及更新とその活用

ニ健苗の育成

ホ施肥の合理化

ヘ病害虫の防除

◉生産目標算定基礎

(1)基準生産数量

一七、一五〇石

水稲　一七、一五〇

(2)増産数量　一、八七四

保温折衷苗代　七五

種子消毒　五七九

病害虫防除　五四三

種子更新　五四三

施肥改善　一三四

計　一、八七四石

◉生産目標数量

二　増産対策

(1)土地改良事業の整備拡充

(2)地力の維持増進

(3)優良品種の普及更新とその活用

(イ)優良品種の普及更新

(3)　生産目標数量　一九、〇二四石

部落名	作付面積	基準反収	基準生産数量	増産数量	生産目標数量
小須戸一	三八、七一	二、四六六	九五四、三八	一〇〇、三一	一、〇五四、六九
〃二	六、八七	二、四五七	一六八、八〇	一七、五三	一八六、三三
横川	八三、一三	二、四七二	二、〇五四、九七	二一四、九八	二、二六九、九五
小向	五九、四七	二、四五八	一、四六一、七七	一五三、七二	一、六一五、四九
水田	五二、九九	二、四八〇	一、三一四、一五	一三七、一〇	一、四五一、二五
鎌倉	五七、二三	二、三七一	一、三五六、九八	一四八、一二	一、五〇五、一〇
天ヶ沢一	四一、八六	二、二八五	九五六、四九	一〇八、一五	一、〇六四、六四
〃二	三三、二六	二、三〇三	七六五、九八	八六、一〇	八五二、〇八
矢代田一	四九、五一	二、二八六	一、一三一、七九	一二八、一八	一、二五九、九七
〃二	五三、九三	二、二九〇	一、二三四、二一	一三九、三五	一、三七三、五六
〃三	五一、二九	一、九八〇	一、〇一五、五四	一三二、四一	一、一四七、九五
新保	一三四、四三	二、四三三	三、二七〇、五八	三四八、一二	三、六一八、七〇
龍玄	六一、八一	二、三八五	一、四七四、一六	一三〇、〇三	一、六〇四、一九
	七二四、五三	二、三六七	一七、一五〇、〇〇	一、八七四、〇〇	一九、〇二四、〇〇

(ロ)優良品種の活用

三　健苗の育成

(1)苗代面積の確保

(2)適期薄播きの勵行

(3)保温折衷式の勵行

(4)選種と種子消毒の実施

(5)苗腐敗病の防除

苗腐敗病の発生を防ぐ爲常発地帯においては特に保温折衷苗代の普及徹底を期すると共に、水苗代の場合は六斗式石灰等量ボルドウ液又は銅製剤、水銀製剤等の薬剤撒布を忘れてはならない

(6)苗代末期の一齊消毒

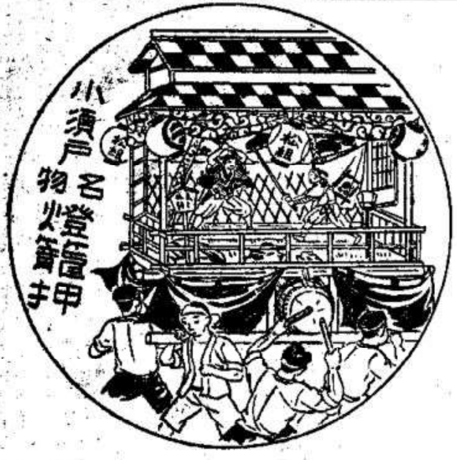
苗熱苗初め苗代における各種病害虫を予防々除しあわせて挿秧後における稲熱病の発生を未然に防止する爲に全面少くとも一回、例年発生地域は二回の薬剤撒布を実施する

(7)防除組織の整備

地方事務所単位に発生予察事業と防除事業を一体とした病害虫防除所を設置し、更に町に病害虫防除員（野崎春作 根本信夫の両氏）を駐在せしめ、病害虫防除に関する中核として事業推進の態勢を整備強化し、防除の万全を期する

四　施肥の合理化

最近化学肥料の消費量は著しく増大して來たが、これに伴なつて施肥の改善適正化については特別の関心を拂う必要が認められる。近年各地に見られる病害、特に稲熱病の発生は異常の傾向であるが、これは窒素過用に原因するところが多いと考えられるので、土壌の特性及び夏季における水稲の発育状況に充分注意し最少限の肥料を最も有効に利用する爲に窒素の分施、燐酸の元肥、加里の施用等に留意すべきである又窒素の穂肥は稲の生育状況、氣象状況等の環境條件を考慮して、施用量及び施用期を誤らぬように施すことが大切である



郷土紹介に

燈籠押しスタンプ

小須戸郵便局では、毎年年賀用、暑中見舞用に郷土繪入りスタンプを作製し、郷土紹介につとめ好評を博しているが、今回更に町名物「燈籠押し」のスタンプを作製したから先生やお友達への通信に皆さんのお利用をお待ちしている。

（上の凸版がその燈籠押しのスタンプ）

「信用保証協會」「産業育成資金」「國民金融公庫」

金融相談

皆さん！　金ぐりは　いかがです
この三つの機関を十分お利用下さい

商工会

優秀仔豚の産出に

町種豚組合の活躍

〝責任ある小須戸仔豚の産出〟をスローガンに、昨年九月結成された小須戸種豚組合にこの程「高等登録受検資格」一頭「種豚登録合格」二頭の改良成果を得た。即ち、去月日本種豚登録協会県支部横尾技師の審査の結果

高等登録受検資格豚　松尾　健一

種豚登録合格豚　板谷　半治

渡辺　熊吉

の三氏飼育豚が見事に合格したもので、特に松尾氏飼育の種豚は、県種畜場産出中の最優秀豚と折紙が付けられたもので、量より質が叫ばれる今日町種豚組合の活躍が大きく期待されている。

町文化の増進に

〝獨立公民館創設〟

町民各位多年宿望の獨立公民館が、町織物同業組合の厚意により持たれることになりました。モダンな小須戸町郵便局の隣りに軒を並べて、町の茶の間として改装され、中央商店街にデビューすることになりました。町の親和の爲、町の発展の爲に充分御利用下さらん事をお願い致します。

追而、利用規定を作りまして、氣軽に使つていただき度いと念願するのであります。専任主事と書記がいつも居りますから是非御いで下さい。お待ち致します。

第二次高校入学者

松沢正夫　佐藤秀夫

沢田秀雄　栗原四郎

三富進司　山崎勇

中川清治　長谷川富栄

高橋英七　児玉忠夫

川瀬欣二　近藤四三男

風間満治　押見春治

松沢登栄　以上十五名

表彰とモデル局に

輝く小須戸郵便局

小須戸郵便局では郵便業務の正常化運動に呼應して日夜公衆サービスの徹底と業務の健全なる運営に努力して來たが、先般長野郵政局より局舎施設と郵便事業の成績優良をもつて「モデル局」に指定された。この栄誉にいよいよ〳〵皆さんの郵便局、愛される郵便局への使命達成に五十嵐局長を始め、全局員が張り切つている。尚同局は廿五年度無事故局として表彰され、また昨年秋の大火に際し、渡辺宇吉　吉田茂　佐藤徳次郎　田中米太郎　星野五郎の五氏が自家が類焼したにも拘わらず、電話機を搬出し焼失を免かれ今回新潟電通本間管理所長から表彰された。

小須戸高校修学旅行

小須戸定時制高等学校では、明春卒業する第四年生の修学旅行を次のように五泊六日の予定で実施する。

四月廿八日…出発

廿九日…京都見学

三十日…奈良法隆寺

五月一日…大阪見学

二日…鎌倉見学

三日…帰校

花の町　観光の町

「小須戸櫻會」生る

小須町戸では講和記念として、町裏堤防と雁巻堤防に櫻の木を植え、町を緑化し「花の町」として将来観光小須戸町をつくり、町の繁栄を図りたいとすでに百五十本の櫻を植えました。町民各位の御援助により更に増植の予定です。

小須戸町

消防團活躍

春季大演習四月二十七日小学校グランド　其他

家族慰安会五月一日から

映画（三本立）

○男の花道

○天然色マンガ

○私達の家庭防火

会場	
小須戸校	五月一日
矢代田校	二日
新保校	三日
横水校	四日

新保分館の講座

新保分館では青年学級定期講座の昭和廿六年度学園卒業式を四月三日に挙行し、卒業証書授与、賞状賞品の授与を終り、金剛石の歌を斉唱、優秀な成果を収め、翌四日より昭和廿七年度の授業に入つた。

大学進学者

小須戸高校卒業生上田秀雄君は、今回めでたく中央大学に入学された。

俳句　（四月句會）

百千高長き一路を廟に入る　芦城

桃咲いてしみ〴〵朝の陽の親し　ひさ

一筋の畦塗り終えて陽は茜　虚風

桃の花見にお祭に來てくれと　星灯

各々の個性一途に畦を塗る　虚秋

桃の花堤外畑につづきけり　溪灯

女学生手を振り別れ桃の花　蜂子

畦塗のいつしか影の伸びてきし　山葵

塗れたる畦まつすぐにただ光る　香月

バス降りて間道行けば百千鳥　一灯

畦塗りや山田かげりて水の冷え　流水

陽も風もいたわる如し蝶二つ　虚秋

退院の君を迎えし里は花　溪灯

新着図書案内

（読書クラブ）

書名	著者
生き甲斐について	市原豊太
魚河岸帝国	宮本幹也
わが画生活	川端龍子
石原莞爾	山口重次
続三等重役	源氏鶏太
〃	〃
しやぼてん夫人	戸塚文子
第三次世界大戦	南陽介
自衛中立	辻政信
戦国無頼	井上靖
波	山本有三
日本における失敗	テクスター
「寫眞」六年間の記録	
〃 恐怖の新兵器	
思いつき工夫の手帳	

（全集）

石坂洋次郎作品集（六）

ホームズ全集（九巻）

佐々木邦全集（八巻）

〃　（十巻）

チボー家の人々（1）

（雑誌）

誌名	号
オール讀物	六月号
新潮	五月号
話	五月号
改造増刊	占領下の秘史
ダイヤモンド増刊	日本の内幕

小須戸中学校

佐渡旅行

期日…五月六日出発　五月七日帰校

行先…佐渡ヶ島見学

詩の国、歌の島として名高き佐渡は、順徳天皇配流の地として涙を注ぐ幾多の史蹟を残しています。新潟県人として是非見ておくべき大切のところです。

廿七年度（公民館）社會教育費予算

費目	金額
職員給	二一四、八〇〇円
諸手当	五二、六三〇
旅費	四七、〇〇〇
賃金	五、〇〇〇
需用費	三四九、〇〇〇
（内訳）	
消耗費	一〇、〇〇〇
燃料費	三三、〇〇〇
食料費	二五、〇〇〇
印刷費	七六、〇〇〇
光熱費	八、四〇〇
通信費	二、〇〇〇
個品費	一九五、〇〇〇
負担金補助交付金	三〇〇、〇〇〇円
（内訳）	
分館補助	一〇〇、〇〇〇
青年運振	五〇、〇〇〇
婦人運振	五、〇〇〇
社会体育	三〇、〇〇〇
諸團振興	五〇、〇〇〇
文化祭	四〇、〇〇〇
町民運動会かくし芸大会	二〇、〇〇〇
成人式費	四〇、〇〇〇
郡負担金	五、〇〇〇
青少表彰	五、〇〇〇
合計	九六八、八五〇

三小学校に

電話架設さる

今回矢代田・新保・横水の各小学校に電話が新設されましたから御利用の程

校名	番号
矢代田校	二三三番
新保校	二三四番
横水校	二三五番

ナショナル
ラヂオ　電氣具
化粧品　食料品
濱屋
二番町　電112番

五月の巡廻幻灯會

（番組）

(1)日光（天然色）　中学校提供

(2)劇　海草山草

(3)マンガ　きんざよのピクニック

(4)教養　台所の改善

(5)昔話　こぶとり爺さん

(6)劇　石地蔵裁判

（日程）

一日―四日　新保分館

五日―十日　矢代田〃

十一日―十四日　横水〃

十五日―月末　町部

町のうごき　（四月）

◇一日…緑の週間

◇三日…農事講演会

◇九日…運営審議会

◇十二日…視聴覚委員会

◇十三日中学PTA總会

◇十八日…視聴覚委員会

○中蒲公民館協議会海津副館長　成田主事出席

◇十九日町部婦人会総会

◇廿一日　交通安全旬間

◇廿五日無火災予防週間

○町小学校PTA總会

◇廿六日…各分館対抗幻灯コンクール大会

◇廿七日…諏訪神社祭禮

◇廿九日　中小学卒業式

◇三十日　読書会

（寄贈御礼）　幻灯委員会

燒酎五升　田中四郎氏

金二百円　臼井川島氏

一等は小須戸分館

縣下初の試み！

幻灯コンクール大會

当夜の「講和記念の歌」
発表も縣下のトップ！

春祭りの宵宮をかざつて行われた「幻灯コンクール」は、巡廻開始一周年の記念行事でもあつた。この日は朝から降り続いた雨にも拘らず入場者は一千名を超えた「各分館とも、こんなに素晴らしい腕になつていたとは――」と某審査員をして驚賞せしめる程の熱演、競演は、縣下最初の試みに恥じぬものであつた。尚当夜中学校生によりこれ又縣下のトップを切つて「講和記念の歌」が合唱された。

各分館の成績は次の通り

等級	題名	分館
一等	芋代官	小須戸
二等	富士山頂	新保
三等	桃源にて	矢代田
〃	そろり新左エ門	横水

亭主の曰く
「いくらうまい！というてほめたとてなんぼなんでも毎日ではなあ―。」
だから――
毎日々々連続のコロッケは考えものです
たまき肉店
神明町　電二番

前号の「稲作と経営」の誤字訂正

	正	誤
一段三行目	暖水	腹水
〃一七行目	單肥	單位
三段一六行	段播	改播

肉
豚　鳥
鳥権精肉店
上田町　電53

三馬のゴム靴
藤倉の雨具
責任付で品物を賣る
田中雨具店
三番町　電7